

松崎町は、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

# ま つ ぎ ぎ

2014  
(平成26年)

## 2

No.597



1月12日 第66回成人式

# 祝第

# 66

# 回

# 松崎

# 町

# 成人式

はたちの門出、65人が大人の仲間入り

1月12日、第66回松崎町成人式が、環境センター文化ホールで開催されました。

今年、新たに大人の仲間入りをした松崎町の新成人は、65人（男子42人、女子23人）、うち51人が出席しました。

式は「式典」と「はたち祭」の2部構成で行われ、新成人たちは、多くの関係者に見守られながら、「成人」として新たな一歩を踏み出しました。式典では、新成人を代表して、船津弘貴さん（船田）と渡邊美由紀さん（石部）が、

「松崎町民として生まれ育った誇りを持ち、自分たちの手で、平和で美しい未来を切り開いていくことを誓います。」と力強く宣誓しました。

はたち祭では、昌空館空手道場の演武やふるさとクイズ、伊豆松崎牛原太鼓の演奏が行われ、新成人の門出をみんなでお祝いしました。

## 【問合せ】

教育委員会（42） 3971

## 新成人が誕生した20年前

皇太子殿下、小和田雅子様のご結婚されました。

Jリーグが開幕し、サッカーブームが過熱しました。また、W杯出場を逃した「ドーハの悲劇」もこの年です。

町内では、旧大沢学舎が「道の駅」花の三聖苑に移築復元されました。



宣誓をした船津さんと渡邊さん



君が代伴奏、新成人鈴木さん（吉田）



「まっちゃん」と記念写真を撮る新成人



ふるさとクイズに挑戦



受付は中学生ボランティアが担当



伊豆松崎牛原太鼓の演奏



昌空館空手道場の演武

# 防火・防災の誓い新たに 松崎町消防団出初式

1月4日、新春恒例の松崎町消防団出初式が松崎小学校グラウンドで行われ、消防団員209人が参加しました。

式典では、山本団長が、「地域住民の生命・身体・財産を災害から守るといふ消防団に課せられた本来の使命を改めてかみしめながら、消防団一丸となって活動強化に取り組みたい。」と訓示を述べ、地域防災への誓いを新たにしました。



商店街をパレードする消防団員

その他、永年にわたって消防防災活動に貢献している団員の表彰や、退団者に対する町長感謝状贈呈、操法披露等が行われました。

式典終了後には、ラッパ隊を先頭に消防団員、消防車両18台による町内パレードと那賀川で一斉放水が行われました。

## 表彰

(敬称略)

### 静岡県消防協会長表彰

功績章(25年勤続功労章、家族に対する感謝状)

- 6-2 団員 高橋和彦
- 特別功労章(20年勤続功労章)
- 本部 部長 竹内 聡
- 2-2 団員 佐藤公宣
- 4-2 副分団長 山本浩二
- 5-1 部長 江口隆一
- 5-3 団員 稲木清宏



操法披露

### 功労章(15年勤続功労章)

- 本部 部長 山本成久
- 1-1 団員 齋藤嘉啓
- 1-3 団員 植松秀人
- 2-2 団員 藤池大輔
- 3-2 班長 馬場年一
- 3-3 班長 飯野哲哉
- 5-2 班長 菊池貴幸
- 5-3 班長 佐藤武揚
- 6-1 班長 齋藤治之

### 10年勤続功労章

- 本部 部長 高橋永剛
- 1-1 班長 中村 幸
- 1-1 班長 鈴木 幸
- 1-1 班長 関 洋介
- 2-1 班長 藤井義巳
- 2-2 班長 清水 豊
- 2-2 班長 山田太一
- 3-2 班長 谷口一也
- 4-1 班長 林 真一
- 4-1 班長 松本一宏

### 静岡県消防協会賀茂支部長表彰

功績章

- 5-1 団員 金刺和仁
- 5-4 団員 田口奉文
- 6-3 班長 高橋幸也
- 本部 副団長 稲葉豊一
- 3分団 分団長 伊東直記
- 5分団 分団長 山本達雄
- 6分団 分団長 大石孝広

### 西伊豆消防団連合会長表彰

功労章

- 1-3 班長 齋藤慎司
- 1-3 班長 土屋貴嗣
- 2-1 班長 吉長寛志
- 7年勤続功労章
- 1分団 分団長 中村和行
- 1-1 班長 石田 良
- 1-1 班長 森 崇彦
- 1-3 班長 高木宗央
- 3-1 班長 山田 正
- 3-3 班長 細田洋治
- 4-2 班長 山本芳紀
- 5-4 班長 後藤 充
- 6-1 班長 長嶋達也
- 6-2 班長 稲持健志

### 松崎町消防団長表彰

善行章

- 本部 部長 山本洋光
- 本部 部長 高橋永剛
- 本部 部長 浅賀浩仁
- 1-1 副分団長 浅賀哲親
- 1-1 副分団長 中村 幸

- 1-1 班長 松本佳人
- 1-1 班長 関 洋介
- 1-1 班長 森 崇彦
- 1-1 班長 鈴木 幸
- 1-1 班長 齋藤嘉啓
- 1-2 班長 小林真輝
- 1-2 班長 関 允紘
- 1-3 班長 佐藤良太
- 2-1 班長 井上 崇
- 2-1 班長 八木直紀
- 2-1 班長 藤井貴啓
- 2-2 班長 小鹿友希
- 2-2 班長 関 剛
- 前3分団長 渡邊和人
- 前5分団長 後藤育正
- 前6分団長 鈴木勝二



表彰を受ける高橋団員

【問合せ】  
総務課(42) 3963

# 消費税法の改正に伴い 4月1日から水道・温泉 料金を改定します

水道・温泉事業は、地方公営企業法の適用を受けた企業会計で、利用者の皆様の使用料金を収入として経営にあたっています。

しかし、水道事業においては、給水人口や観光客数の減少等で使用水量が年々減少し、それに伴い水道料金収入が減少しています。

一方、温泉事業におきましても近年新規加入もなく、休止件数も増加し、水道事業と同様に経営が大変厳しくなっています。

このような状況の中、消費税法の改正に伴い平成26年4月から消費税率が5割から8割へ引き上げられる事になりました。

このため、消費税率の引き上げ分を増額した新たな料金を平成26年4月1日(火)から適用させていただきます。

安全で正常な水や温泉の安定的な供給を確保していくためにやむを得ない改定であることをご理解いただきますようお願いいたします。

【問合せ】  
生活環境課(42) 3969

## 温泉料金

区分	旧料金	新料金
自家用	10,000円	10,286円
超過料金	630円	648円
自家用休止	2,000円	2,058円
営業用	31,000円	31,886円
営業用休止	6,500円	6,687円

## 使用料金比較例 2ヵ月あたり

使用水量	現行料金	改定料金
20m <sup>3</sup> の場合	2,312円	2,378円
30m <sup>3</sup> の場合	3,662円	3,768円
50m <sup>3</sup> の場合	6,482円	6,668円
100m <sup>3</sup> の場合	14,312円	14,698円
150m <sup>3</sup> の場合	23,512円	24,148円

## 水道料金 2ヵ月あたり

区分	使用水量	旧料金	新料金
基本料金	20m <sup>3</sup> まで	2,312円	2,378円
	21~40m <sup>3</sup> まで	135円	139円
超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)	41~60m <sup>3</sup> まで	147円	151円
	61~100m <sup>3</sup> まで	159円	163円
	101~200m <sup>3</sup> まで	184円	189円
	201~400m <sup>3</sup> まで	208円	214円
	401m <sup>3</sup> 以上	233円	240円

## 確定申告 会場のお知らせ

平成26年1月1日現在、松崎町に住んでいる方で、確定申告(所得税の申告)が必要な方は、3月17日(月)までに申告をお願いします。

### 確定申告会場

【場所】  
下田市民スポーツセンター(サンワーク下田) 第一会議室

### 【期間】

2月17日(月)~3月17日(月)

※土・日を除く

### 【時間】

午前9時~午後5時

※会場の混雑の状況により、案内を早めに終了する場合がありますのでご注意ください。

※この期間、下田税務署内では申告書の作成指導を行っていません。

※会場では電子申告(e-tax)による申告相談を行っていません。税務署から送られたハガキまたは昨年申告時にお渡しした緑色の封筒をお持ちの方は、持参してください。

## 確定申告相談(出張相談)

### 【場所】

環境センター2階研修室

### 【日時】

2月26日(水)

3月4日(火)

### 【時間】

午前9時30分~正午

午後1時~午後3時30分

### 無料税務相談所

### 【場所】

環境センター2階研修室

### 【日時】

2月26日(水)

3月4日(火)

### 【時間】

午前9時30分~午前11時30分

午後1時~午後3時30分

### その他

○贈与税の申告と納税の期限は3月17日(月)です。

○消費税の申告と納税の期限は3月31日(月)です。

○譲渡所得(株式および土地・建物等の売却による所得)および贈与税の申告相談は、

下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)で行っています。

### 【問合せ】

下田税務署(22) 0185

## 年金受給者の皆様 に対する確定申告 説明会

年金受給者の方を対象とした確定申告説明会を次のとおり開催します。

※説明会当日は、パソコンを利用した申告書の作成・指導を予定しています。

【場所】  
環境センター2階研修室

【日時】  
2月10日(月)

【時間】

午前9時30分～午前11時30分  
午後1時～午後3時30分

【持参していただく書類等】

①平成25年分の公的年金等の源泉徴収票

②各種控除の証明書・領収書

(社会保険料控除証明書等、生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書、医療費の領収書等)

③印鑑、電卓、筆記用具、口座番号がわかるもの

(申告者名義のものに限る)



④次のイまたはロの書類

イ、「平成25年分 所得税・消費税および地方消費税の確定申告のお知らせ」ハガキまたは封書

※昨年以前に申告会場でお渡しした「利用者識別番号の通知」(緑色の封筒)に入っています。をお持ちいただくと申告書の作成がスムーズに行えます。

ロ、平成25年分の所得税の確定申告書

(説明会当日までに確定申告書が届いていない方には会場で準備します。)

※申告期間中は、申告会場が大変混雑しますので是非この機会をご利用ください。

※なお、公的年金収入のほか、に事業収入や不動産収入、および譲渡収入等がある方は、2月17日(月)以降に下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)で開催します確定申告会場をご利用ください。

【問合せ】

下田税務署(22) 0185  
※自動音声により案内します。

確定申告のお問合せは「0」を選択してください。

## 伊豆トレイルジャーニー2014の開催迫る!

～3月16日(日)午前5時、松崎新港をスタート～



IZU TRAIL  
Journey  
since 2012

3月16日(日)、松崎・修善寺間の山間部等の自然の中(コースの距離約71.5km)を走る「伊豆トレイルジャーニー2014」が開催されます。

第2回目の開催となる今年も、国内外、全国各地から約1,500人の選手が集まります。



◀前回大会のスタート

多くの選手やその同伴者が、大会前日から伊豆半島を訪れますので、町民の皆様も温かいおもてなしの心で接していただき、ひとりでも多くの来訪者に伊豆のファンになっていただきたいと思っています。

大会当日は、交通規制等でご迷惑をおかけすることもあります。伊豆地域の活性化のため、ご理解、ご協力をお願いします。

○大会スケジュール  
3月15日(土)  
参加受付

午前11時～午後8時

開会式および事前説明会

第1回 午後1時30分～

第2回 午後4時30分～

第3回 午後6時30分～

会場 環境センター

3月16日(日)

スタート時間 午前5時

スタート場所 松崎新港

ゴール場所

修善寺総合会館(伊豆市)

ゴール制限時間 午後8時

※1位の選手は、午前11時30分頃にゴールする予定です。

◀山岳を走る選手



【問合せ】

伊豆トレイルランニングレース実行委員会事務局

0558(99)9118

## 災害協定等の締結

### ○松崎高校

12月18日、町は松崎高校と、災害時の施設使用に関する覚書を改めて交換しました。

県の第4次地震被害想定では、体育館やグラウンドが浸水想定域となったため、高台にある講堂や昇降口前ロータリーを避難所・救助所として追加し、1棟校舎の3、4階を津波避難ビルとした内容となっております。



### ○静岡県司法書士会

12月24日、町は静岡県司法書士会と、大規模災害時における司法書士相談業務の支援に関する協定を結びました。

災害救助法が適用される大規模災害の際に、混乱する被災地の被災者支援のため、司法書士が無料法律相談を実施する内容となっております。

### ○西日本電信電話(株)静岡支店

12月26日、町は西日本電信電話(株)静岡支店と、災害時の被災者等の通信を確保するため、特設公衆電話の設置・利用に関する覚書を交換しました。

#### 【問合せ】

総務課(42) 3963

## 松本忠久副町長 任期満了で退任

松本忠久副町長が、1月13日に任期満了を迎え退任しました。

平成22年1月14日に副町長に就任され、任期満了で退任されるまでの4年間、副町長を務められました。



離任式で花束を受け取る松本副町長

## 100歳のお祝い

### 壬生美代子さん

(山口)

(大正3年1月5日生)

1月6日、齋藤町長は、壬生さんの自宅を訪問し、お祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けた壬生さんは、「ありがとうございます。笑顔で答え、また日常生活の様子等をしつかりとした口調で話しました。」



100歳のお祝いを受ける壬生さん

#### 【問合せ】

健康福祉課(42) 3966

## 松崎文芸

— 短歌 —

人力で組み立てられてゆく肋材きばた

掛け声といふも力の一つ

岡村芳子

チェロの音に麻醉かけられるも忘れりて

眠くなりたり歯医者はにやの椅子に

杉山安紀子

雨の日の楽しみたのしみのありミシン踏む

音たのしくてブラウスを縫ふ

山本智恵子

十日ぶりにわが家に帰る道すがら

すすぎがゆらぎ彼岸花咲く

細田光代

踊り子の乗り合のりあひバスの通り過ぎ

天城路はこの先も奥山深く

土屋君子

## ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

下記の方からふるさと納税をしていただきました。(順不同)

- 伊藤秀也様 (神奈川県在住)
- 小原弘道様 (東京都在住)
- 大高功様 (伊豆市在住)
- 高梨由美子様 (神奈川県在住)



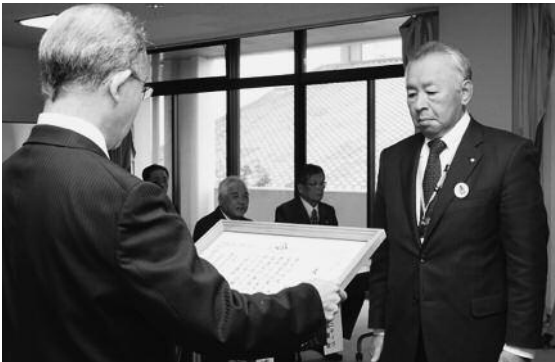
# ～まちのできごと～

12/21・22  
長野県松本市安曇地域自治区親善訪問団来町



長野県松本市安曇地域自治区から親善訪問団13人が来町しました。訪問団の皆様は、桜工場の見学や桜葉のお話、ジオサイトクルーズ等を楽しみました。

1/8  
交通死亡事故ゼロ連続1,000日達成表彰



町は、1月5日の午前0時に交通死亡事故ゼロ連続1,000日を達成しました。記録達成により、1月8日に、県の交通安全対策協議会から表彰を受けました。

1/2  
乗り初め



雲見海岸では、航海の安全と豊漁等を祈願する乗り初めが行われ、海岸に組まれたやぐらからお餅がまかれました。強い西風の中でしたが、多くの来場者で賑わいました。

1/16・17  
ポンカン品評会



環境センターでは、ポンカンを特産品として振興することを目的に、品評会が行われました。出品された31点について審査が行われ、船田の船津正雄さんが金賞に輝きました。

「このままではいけない。」と強く感じました。松崎町が小さくても光り輝く、潤った町になるためには、基幹産業である観光業の振興が不可欠です。

私は町長就任時から「全町まるごとふるさと自然体験学校」を目標に先人が培った文化や伝統を観光客のお客様に体験していただき、対価を得る、町民は先生であるということの基本にさまざまな施策を推進してきました。

## 町長室からこんにちは ⑤0

素晴らしいイベントの開催には、町民の皆様のご協力が必要になります。炊いたお米の一粒一粒が立っていると美味しいように一人一人が自分の得意分野で参加し、知恵を出し合っていたいただきたいと思えます。町民の皆様のご理解とご協力をいただき、干支である馬が駆け抜けるようなスピードで成功を実感できる1年にしていきたいと思えます。

松崎町長  
齋藤 文彦

## イベントで町を元気に

1月12日、環境センターにおいて、第66回松崎町成人式が開催され、65人の新成人が大人の仲間入りをしました。

私は、毎年、成人式に出席させていただき、新成人の門出をお祝いしています。が、年々新成人の数が減少しています。

少子高齢化と過疎化が急速に進む松崎町にとって、当然の状況ではありますが、「このままではいけない。」と強く感じました。

しかしながら、観光振興に起爆剤は無く、落ち込む観光客数を増やすには、一つ一つの施策を地道に実行していくことが重要です。

こうしたことから、今年は、7大イベントやさまざまなイベントの見直しと拡充を図り、町民の皆様はもちろんのこと観光客も楽しむ、交流も図れるようなものにしていきたいと考えています。

### 町の人口と世帯

(平成25年12月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,452人	(+2人)
男	3,537人	(+4人)
女	3,915人	(-2人)
世帯数	3,065戸	(+4戸)
転入	12人	転出 7人
出生	2人	死亡 5人

### 町の交通事故

平成25年12月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	1件	(-1)
物損事故	17件	(+9)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-2)

### 戸籍だより (12月届出分)



#### おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
八木山	ももこ	女	加藤 桜
峰輪	空叶	男	山本彩人

#### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
野田	齊藤正子	89	秀 樹
池代	山本春美	81	文 昭
門野	吉長よしほ	96	武 志
岩地	高橋千夢	95	唯 志
船田	船津兼雄	89	健

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### ストップ！悪質商法被害

「あなたも賢い消費者に」

#### 「スマホのアプリのダウンロードには」注意を！

スマホはここ数年で一気に多くの方が利用するようになりました。従来の携帯電話と異なり、スマホはいわば小さなパソコンで、アプリをダウンロードして自分が使いやすいスマホへカスタマイズしていくこととなります。

さて、近年、無料と表示のあったアドルトアプリをダウンロードしたところ、電話番号は知らせていないのに、高額の利用料金の請求電話がスマホにかかってきたというような事例がみられます。

これは、アプリのダウンロードの際に、「アクセス許可」として、自身の電話番号、電話帳の情報等をアプリ提供事業者に提供することを許可してしまっているからです。アプリのダウンロード前どのような情報につき、「アクセス許可」が求められるのか表示がされます。アプリのダウンロードに際しては少なくとも「アクセス許可」画面を確認すること、また、そもそも無料アプリのダウンロードについては問題がないか慎重に検討した上でダウンロードすることが求められます。

(文と絵) 司法書士 山田 茂樹  
【問合せ】企画観光課(42)3964



### 地域交流通信

#### 松本市安曇地区から

#### ウィンターシーズン 真ただ中です

昨年は、年末の松崎町訪問にもかかわらず、齋藤町長様をはじめ松崎町の皆様の微に入り細に入り行き届いたおもてなしをいただき、思い出せることができました。本当にありがとうございました。

この交流を取り上げていただいた静岡新聞の記事を地区内に紹介しながら、あらためて歴史のある事業と感じています。

今、安曇はスキー・冬山登山等、ウィンターシーズン真ただ中です。スキー人口の減少という厳しい現状はございますが、今年は冬季ソチオリンピックが開催されます。これを機に冬のスポーツに大いに興味を持っていただき、冬の北アルプスの大自然の懐に抱かれながらのスキーや良質な秘湯の温泉を味わう、「静と動」を備えた安曇の地に多くの方が訪れていただくことを期待しています。

松本市と合併して十年を迎え、当時のさまざまな思いや、この地の特性を十分生かしながら具体的な地域づくりを進める時期でありますので、私も安曇支所も松崎町の皆様が地道に実践され、歩まれてきた町づくりを参考にさせていただきながら住民の皆様と手を携えて共に歩みたいと思っております。

棚田を再生し、米焼酎「百笑一喜」を生んだ松崎町の皆様の着実な歩みに思いをはせながら、今、「百笑一喜」を美味しくいただいております。  
(安曇地域協議会事務局 安曇支所 宮嶋 孝)



スキー教室でスキーを楽しむ修学旅行生たち